菓子を販売。一風亭にはフランス料理やワインが楽しめるコーナーが登場した。駐車場にはステージが設けられ、地元の中学生やバンドが演奏を披露した。

足立社長は開会セレモニーで「（やすぎ千軒は）来年で10周年を迎える。中心市街地のにぎわいづくりを強化したい」と述べた。

新藻刈り船が初運航

松江・天神川で性能確認

「だんだん藻刈り丸」の初運航を見守る関係者

松江市が19日、市内を流れる天神川の水草を刈るために新調した藻刈り船「だんだん藻刈り丸」を初めて運航し、性能を確認した。

新しい船は全長約7㍍、幅約2㍍。前部の歯で水深約1・2㍍までの水草を刈ることができ、水草はベルトコンベヤーで後方の荷台に運ぶ。最大約350㌔の水草を積めるという。

従来の船が老朽化したため、約2500万円で導入した。初運航にあたり、松浦正敬市長は「松江の水環境を守っていきたい」とあいさつした。

大量に繁茂して枯れた水草が川底にたまってヘドロ化し、異臭の発生などを起こさないよう、7～8月を中心に業者に委託して運航。費用は年間約300万円で、市と県が折半して負担する。

地域活性化目指し
新古志原音頭作成

松江、27日に初披露

松江市古志原地区の魅力を歌う「新古志原音頭」をこのほど、地区民らが作った。古志原の風物や地区へ